

みどり 水土里ネット広報

〒879-6115
大分県竹田市荻町馬場426番地1
荻柏原土地改良区
TEL 0974-68-2238
FAX 0974-68-2239
<http://www.midorinet-ogi.com>

No.61

ご挨拶

寒中お見舞い申し上げます。

皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は荻柏原土地改良区の運営にご理解、ご協力を賜りまして厚く感謝申し上げます。

現在、国営大野川上流農業水利事業は、平成32年度の供用開始に向け浸透抑制対策工事実施中であり、附帯する県営事業については、本年度より荻3期地区の馬場、桜町工区の工事に着手し、平成30年度より随時柏原工区の工事に着手していく予定となっており、安定した営農の取り組みへの期待が高まります。

県営農業水利施設保全合理化事業については、平成29年度から第一幹線水路の補修工事に着手しました。断水等で組合員の皆様方にはご迷惑をお掛けしておりますが、ご協力を賜ります様お願い致します。

小水力発電事業の取り組みについては、九州電力の募集プロセスに参加し、平成29年度の臨時総代会にて議決され、本年度より事業着手していく事になりました。

農業を取り巻く情勢は厳しいものがありますが、国営、県営事業の早期完了による営農推進、組合員負担の軽減に繋がる小水力発電事業の取り組み等について役職員一丸となって努めて参りますので、今後ご支援、ご鞭撻を賜ります様お願いしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

平成30年1月

荻柏原土地改良区 理事長 佐藤 慶一

国営大野川農業水利事業について

国営大野川上流農業水利事業は現在、大蘇ダムの浸透抑制対策工事が行われています。

平成31年度の事業完了を目指し、法面のコンクリート吹付工事、池底のブランケット工事を行いながら、対策工事の効果を図る試験湛水が実施されています。

平成32年からの供用開始に向け、基幹水利施設の管理について11月22日に荻柏原土地改良区、荻西部土地改良区、竹田市土地改良区の3改良区の理事長と、首藤市長、日小田市議会議長が農林水産省に要望を行いました。

また、その他の国営造成施設の維持管理については、竹田市、阿蘇市、産山村と既存土地改良区で構成される維持管理協議会の設立が進められています。



大蘇ダム天端より貯水池を望む
(平成29年12月20日撮影)



農林水産省要望
(平成29年11月22日)

県営事業について

県営中山間地域総合整備事業

大蘇ダムの水を国営施設から荻町の畑地へ給水する為の「畑地かんがい整備」を事業メニューの中心とした中山間地域総合整備事業は、平成27年度より「荻3期地区」(H32年度完了予定)が実施しており、平成28年度補正予算を受けて、本年度より畑かん工事に本格着手したところです。

(H29年度の実施概要) ・畑かん工事 7件 Σ L = 6.7km (馬場工区3件 L = 4.3km、桜町工区4件 L = 2.4km)
 ・畑かん実施設計 柏原工区 (減圧水槽4箇所含む)
 ・減圧水槽測量設計 馬場工区2箇所、桜町工区2箇所 (=同左用地買収補償)

(H30年度の実施予定) ・畑かん工事 柏原、馬場、桜町工区
 ・減圧水槽設置工事 馬場工区2箇所、桜町工区2箇所
 ・減圧水槽用地測量 柏原工区4箇所 (=同左用地買収補償)

畑かん工事の本格実施にあたっては、組合員の皆様には何かとご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力のほど、よろしくお願いします。

県営農業水利施設保全合理化事業

平成29年度は12月現在で総事業費約10,000千円(改良区負担約500千円)で第一幹線水路トンネルの表面被覆工事を行っています。

平成30年度は引続き幹線水路の表面被覆工事を行う予定となっております。工事は非かんがい期に行う予定ですが、断水等も必要となります。断水等につきましては水路取締人と協議をして、回覧等にてお知らせを致しますので、ご理解とご協力をお願いします。

第一幹線水路表面被覆状況

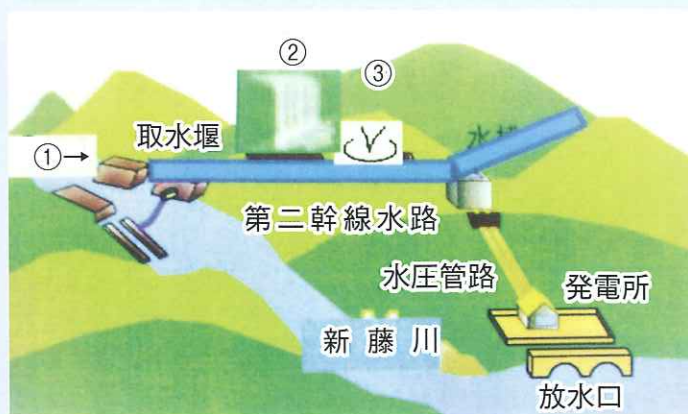


県営小水力発電施設整備事業

平成25年7月総代会で“かんがい用水に影響の出ない範囲での取り組み”が可決された小水力発電事業については現在、送電線の上位系統対策に係る募集プロセスに参加し、九州電力にて費用負担、対策工事の検討が進められております。

平成29年11月17日に開催された平成29年度第2回臨時総代会にて事業計画、収支計算を提示する中で本年度の補正予算にて予算付けがされました。

発電所諸元	
水車型式	横軸フランシス水車
最大使用水量	0.56m ³ /s
有効落差	80.10m
最大出力	341kw
年間発生電力量	2,170千kwh
概算工事費	515,000千円



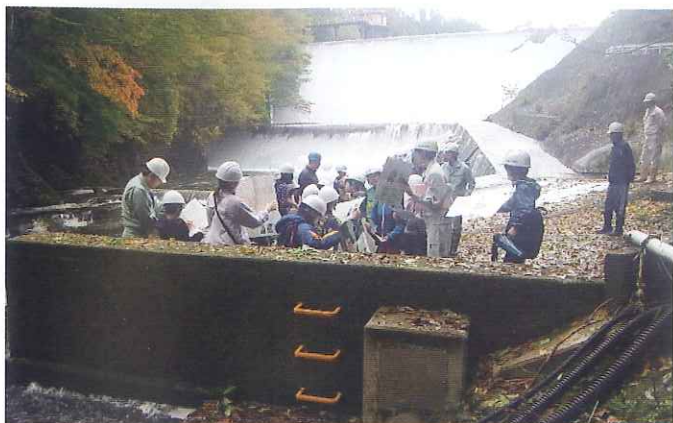
イメージ

社会科見学・出前授業・大谷ダム見学会の実施

子どもたちに荻町の歴史や農業農村、水利施設における多面的機能を伝える啓発活動を毎年行っています。

荻小学校4年生を対象に10月12日に史談会の永田修二さんより荻町の水路づくりの歴史について出前授業を行っていただき、10月30日に大谷ダムと第一幹線隧道内の見学を行いました。

12月5日には緑ヶ丘中学校全校生徒を対象に荻柏原土地改良区の後藤事務局長より土地改良区の歴史から見る地域農業の発展について、竹田市役所農政課の前原氏より竹田市の農業について出前授業を行っていただきました。また、8月17日には竹田市内の小中学校の教員の方に大谷ダム見学会を実施し荻町や土地改良区の歴史に触れていただきました。出前授業、施設見学を行う中で水路建設や農業についての質問や荻町に対する思い等が飛び交いました。



荻小学校4年生社会科見学の様子



小中学校教員の方の大谷ダム見学会の様子



緑ヶ丘中学校出前授業の様子



緑ヶ丘中学校出前授業の様子

ふるさと祭り展示会

啓発活動の一環として、平成18年度より毎年11月3日開催の荻町ふるさと祭りで荻柏原土地改良区に関する展示をしております。今年は、広報誌や社会科見学等の写真の展示に加え、パンフレットや畑かん施設の写真の展示を行いました。また、県営事業実施中である事から、昨年同様畑かん用ロールカーの展示を行い今年は実践動画を流す中で使用方法の説明を行いました。

町内外の方に観覧していただきましたので、来年もお越しいただければ幸いです。



県知事への鏡餅進呈



平成29年12月28日、県営事業で地域農業基盤を整備して頂いている関係機関に感謝の意を込めて、当地でとれた水稲モチを使った鏡餅を進呈しました。

進呈は昭和61年から32年目となり、今年は首藤俊介さん、小出隆義さん、中嶋久美子さん、渡邊里香さんに地域代表者として同行して頂き、地元選出の土居県議会議員と一緒に、広瀬知事、安東副知事、井上県議会議長、中島農林水産部長、義経土地改良事業団体連合会長にお届けしました。



荻柏原土地改良区からのお願い

平成30年1月5日現在、大谷ダム貯水率は75%となっております。大谷ダム貯水の為本年度も例年とおとり取水を止めて交互の配水を行います。農業水利施設保全合理化事業で水路工事中の為、荻地区の配水は2月10日以降となります。

かんがい期でない時期に、主に幹線、支線に刈草や残飯等のゴミを流すとゴミ詰まりで災害等が起こりうる可能性もあります。水路は農業用水を流す大切な水路です。水路へのゴミ投げ入れ等は決して行わないようお願い致します。

お知らせ

組合員資格得喪失通知書(異動届)及び地区除外申請の提出について

下記要件が発生した場合は、法務局や農業委員会への手続きだけでは土地改良区の台帳は変わりませんので、速やかに資格得喪失の手続きをお願いいたします。

- ◎組合員が死亡(相続)された場合
- ◎組合員が住所、氏名等を変更された場合
- ◎組合員が農地を喪失または、取得(譲与、売買、競売、異動など)された場合
- ◎農業者年金の受給による経営世帯主を交代した場合

また、農地転用や地区除外される場合は改良区への申請手続きと決済金が必要になります。これらの手続きを行わないと台帳から除外できず、従来通りの賦課金が賦課されますので、ご注意ください。

なお、平成30年2月15日までに地区除外申請をしていただくと、平成30年度より賦課金がかかりません。

※決済金は残存農地が将来過重負担にならないために必要なもので、市街化区域及び現況証明の農地転用や、公共事業用地に買収及び寄付される場合にも必要となります。